

古文書を読む会学習記録

作成日 平成31年 3月17日

開催日	平成31年 3月14日	時 間	10:00~12:00
場 所	区民活動センターAB会議室	出席人数	15名
講 師	真田 雅行氏	作成者	鈴木 浩士
テーマ	第一学習 野島浦 鈴木家文書⑮		
概 要	<p>○天保9年（1838）の野島浦の現状と経緯を報告</p> <ul style="list-style-type: none">・現状 生産高；28石、江戸へ；12里、家数；95軒（うち14件潰れ）、生業；漁業72軒残り11件は農間商人ほか。・経緯（抜粋）77年以前（宝暦13年）より湯屋、82年以前（宝暦8年）髪結、150年以前（元禄2年）渡海船宿、その他90年以前より粗石質物渡世（石屋か？）や寺が3軒あり、後家が7軒で都合81軒。 <p>○御取締御出役から質屋についてお糺し（天保9年）。</p> <ul style="list-style-type: none">・質屋渡世 幾次郎と新七（3年前から）の2人。・それぞれの扱い高を2年分報告。幾次郎；113両余り、新七；16両余り <p>○助成金貸付のお願い（天保10年、御助成金御貸附所宛）。</p> <ul style="list-style-type: none">・浜方漁業稼方の手当て不足のため500両をお貸し願いたい。・当該地の名主連名でそれぞれ担保を差し出すことを約束。 相州三浦郡走水村 拝借人 名主 武左衛門 他4名。 <p>○入置申一札之事（天保10年）。1通のうち前半部分。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 新肴場の飯塚屋が一昨年武左衛門と庄兵衛（拙者）に譲られた。ところが召仕の七右衛門、勘助が不埒を働いていて1000両も借受けてしまっていた。この利息金100両を取扱所で支払い、その上月々7人半扶持を出しては活鯛納方は難渋してしまう。よって二つとも取扱所からは差出さず、新肴場店のことは武左衛門他4人の荷主衆へ10年間任せることとし、仕方は相談で決めた。 その内容は以下の通り。（以下は次回）		
次回予定	平成31年 3月28日 10:00~12:00 於:金沢区民活動センターAB会議室 第二学習 艱難実録(箱館戦争)(下)⑲		